

まちづくりニュース



発行：平成23年7月
杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当



京王線沿線まちづくりニュースは、地域のまちづくりの情報紙として発行していますが、今号は、まちづくりに大きく関係する「京王電鉄京王線（笹塚駅～つつじヶ丘駅間）の連続立体交差化・複々線化に関する都市計画案および環境影響評価準備書、関連する側道の都市計画案等の説明会」の概要を主にお知らせいたします。

- P.2・3 ▶ 都市計画案の概要
 - ▶ 環境影響評価の今後の手続き
- P.4 ▶ 都市計画案Q&A ▶ 沿線探訪



都市計画案、環境影響評価準備書の説明会



平成23年5月16日から25日まで説明会を開催し、沿線8会場で延べ約2,000名の皆さんにご来場いただきました。

説明会では、計画の概要、工事着手までの手続き、環境影響評価のあらまし、予測・評価の結果及び環境保全措置等の説明を行いました。計画の概要は、次ページ以降に掲載いたしました。

説明会での質疑応答では、都市計画素案との変更点や今後のスケジュール、環境影響評価、地震に対する安全性等に関するご質問等がありました。

説明会会場やその後に問合せをいただいた質問について、最終ページに主な項目を掲載いたしましたので、ご参照ください。

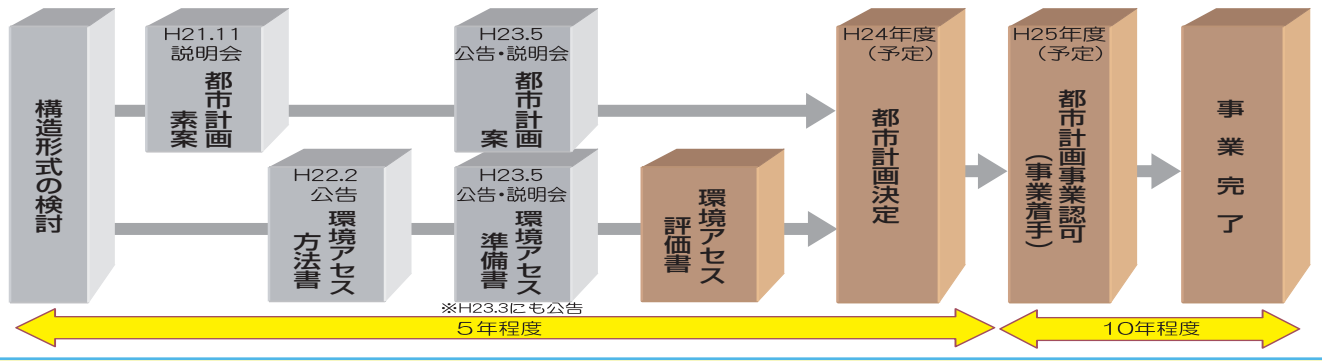
今後も引き続き、地域の皆さんとともに、沿線のまちづくりを進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

説明会の様子

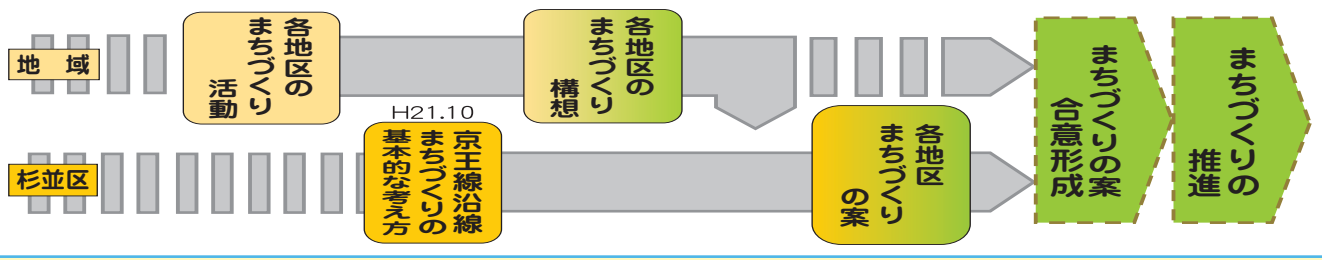


京王線沿線の事業の流れ

連続立体交差事業の概ねの流れ



まちづくりの概ねの流れ



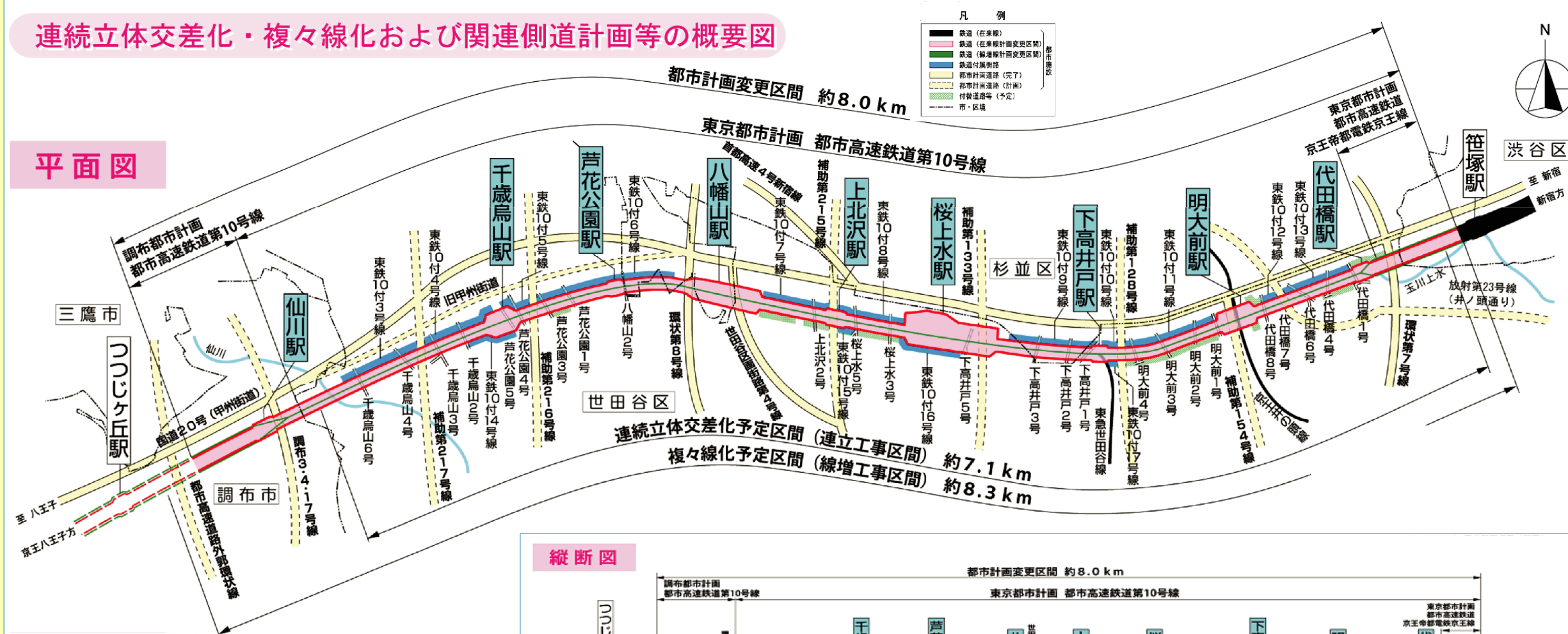
※今回のニュースは、東京都の協力により編集・作成しております。



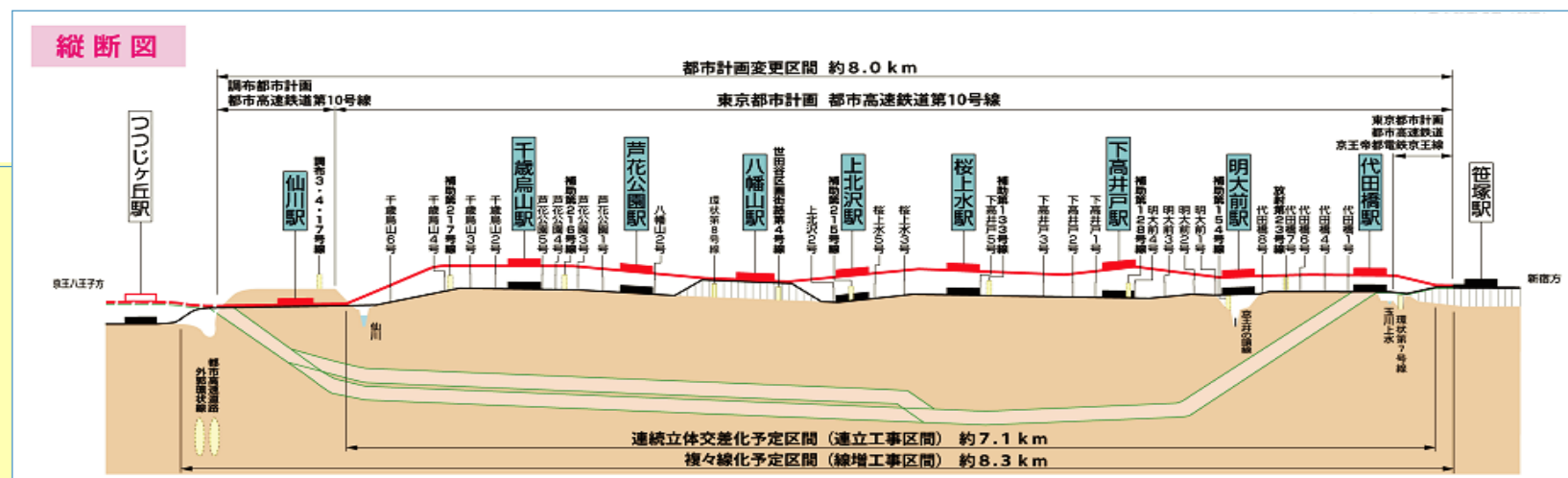
京王電鉄京王線の連続立体交差化・複々線化および関連する側道の都市計画案等の概要

連続立体交差化・複々線化および関連側道計画等の概要図

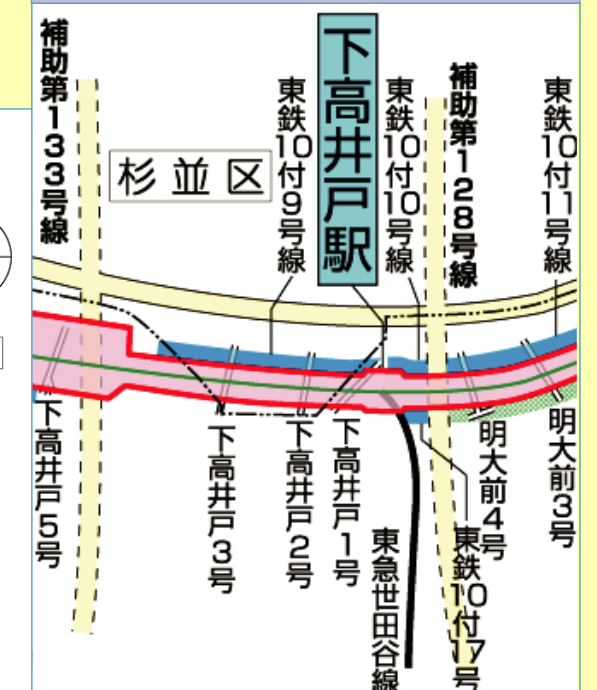
平面図



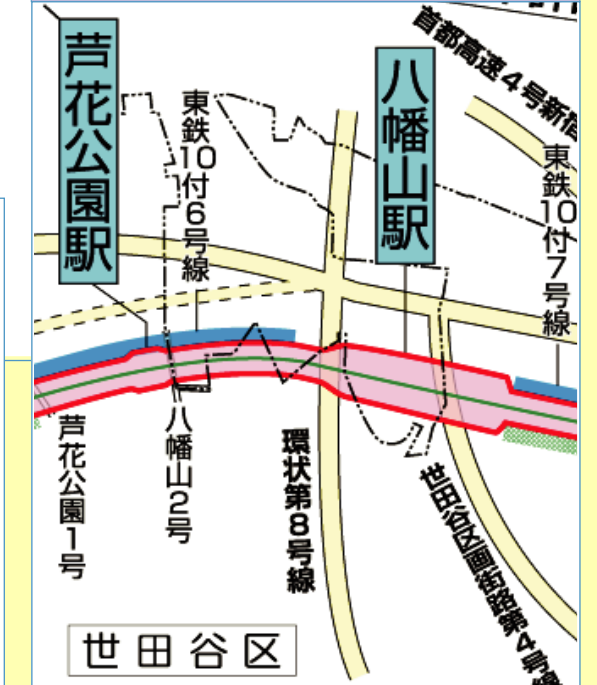
縦断面図



[東鉄10付9号線] (杉並区域拡大図)



[東鉄10付6号線] (杉並区域拡大図)



関連する側道の都市計画案等の規模

鉄道の高架化に伴う日影の影響など、環境に与える影響を緩和するとともに、駅へのアクセスの向上や防災機能の強化などを目的として、鉄道附属街路（東鉄10付3号～17号）15本を整備します。このうち、杉並区が都市計画決定する路線は、下記の2路線です。

鉄道附属街路名	延長・幅員
東鉄10付6号線	・約890m (杉並区内 約150m) ・6～12m
東鉄10付9号線	・約480m (杉並区内 約400m) ・6～9m

右上の(杉並区域拡大図)参照



環境影響評価手続きの主な流れ

方法書の縦覧・意見の提出

事業実施による環境影響の調査・予測や評価手法を記載した方法書を縦覧しました。方法書についての住民等の意見や、区市長からの意見などをもとにした都知事（環境局）の意見を踏まえ、環境影響評価の方法を決定しました。

準備書の縦覧・説明会・意見の提出

方法書等に基づき、調査・予測・評価・環境保全措置の検討を実施した結果を取りまとめた準備書を縦覧するとともに、説明会を開催し、準備書の記載内容について説明しました。準備書の内容について、環境保全の見地からの意見を意見書として受け付けました。今後、準備書への意見の概要とそれに対する見解を作成します。

都民の意見を聴く会の開催 (今後の手続)

都知事（環境局）は、準備書の内容について都民の環境保全の見地からの意見を聴くため「都民の意見を聴く会」を開催します。都知事（環境局）は、準備書への意見の概要とそれに対する見解や区市長から提出された意見を踏まえ、環境影響評価審議会に諮り、準備書について環境保全の見地から審査して意見を述べます。

評価書の縦覧 (今後の手続)

意見の内容を検討し、必要に応じて準備書の内容を見直し、評価書を作成します。その後、環境大臣の意見を踏まえた国土交通大臣の意見をもとに、必要に応じて補正を行い、評価書を縦覧します。



説明会、問合せのQ&A(抜粋)

Q1 素案から案になった段階で、変更がありましたか？

A. 都市高速鉄道については、都市計画に定める区域や構造形式などの変更点はありません。世田谷区域の鉄道附属街路には一部変更および追加がありました。(変更箇所は下高井戸駅、桜上水駅、上北沢駅、千歳烏山駅付近です。)

Q2 今回の都市計画面による高架橋は、東北地方太平洋沖地震と同程度の規模の地震に耐えられるのですか？

A. 土木学会、日本都市計画学会、地盤工学会は、阪神・淡路大震災後の耐震に関する考え方に基づいて補強された鉄道高架橋の橋脚は、無被害であったと報告しています。また、国土交通省は、同大震災以降の基準で建設された在来線の高架橋に大きな損傷は見られなかったことを公表しています。

今回の都市計画面で示した高架方式についても、阪神・淡路大震災以降に改定された基準等で建設することとなるため、設置される高架構造物は今回と同規模の地震に対しても有効であると考えています。なお、今後基準等が見直された場合は、新たな基準等で設計・建設を行います。

Q3 笹塚駅と八幡山駅の耐震性は、大丈夫なのでしょう？

A. 笹塚駅周辺と八幡山駅周辺については、すでに高架式の立体交差化が完了しています。両駅とも、阪神・淡路大震災以前に建設した構造物ですが、同大震災を踏まえた耐震補強工事を

実施するなど、適切に維持管理されていることから、今後も十分に活用することが可能です。

Q4 環境影響評価方法書に対する意見は、今回の準備書における調査・予測・評価の方法に反映されたのでしょうか？

A. 環境影響評価準備書の作成にあたっては、環境影響評価法に基づき、東京都知事(環境局)や住民の皆様の意見を踏まえ、評価項目に、工事の実施(切土工等又は既存の工作物の除去)による「水循環」への影響や供用後の鉄道施設(掘割式、地下式)の存在による「地盤」を追加するなど、環境影響評価の方法について、再検討し必要な修正を加えています。

Q5 今回の都市計画の変更によって、自分の家が用地買収の範囲に含まれるかどうか、また、対象の面積等が明確になるのは、いつになるのでしょうか？

A. 都市計画決定(平成24年度予定)後に用地測量等説明会を開催のうえ、用地測量を行って土地境界を確認し、事業で必要な区域や面積を確定させていただきます。

Q6 用地取得はいつ頃から始まるのでしょうか？

A. 都市計画事業認可(平成25年度予定)後に用地補償説明会を開催します。説明会では用地取得の手順や補償内容および生活再建制度について説明いたします。それ以降に、用地をお譲りいただくことや移転等の具体的なことについて、権利者の方々にに対して、順次、個別にお話しさせていただきます。



沿線探訪(上高井戸界わい)

高井戸という地名が「上高井戸」「下高井戸」と分けられた定かな記録は残っていませんが、一般的な地名のつけ方である、京に近い西側が「上」高井戸村、遠い東側が「下」高井戸村と、江戸時代から呼ばれています。



上高井戸宿(復元模型)
※杉並区郷土博物館常設展示

甲州道中(街道)が五街道の一つとして整備され、高井戸宿は、上下二か村で一つの宿を務める合宿(あいしゅく)の制度で運営され、月の前半は下高井戸宿が、残りの後半は上高井戸宿が勤めました。宿場の中心である本陣は、上高井戸宿が街道の北側で、現在の環八交差点あたり、下高井戸宿が覚蔵寺の向かい側(街道南側)辺りにあったといわれています。

高井戸は明治時代には、「高井戸丸太(四谷丸太)」と呼ばれる良質な杉の生産が盛んでしたが、第一次世界大戦後の経済恐慌の余波、大正12年の関東大震災以降の住宅地化への進展などで、植林に力を入れる人が減少し、急速に杉林は衰退してしまいました。

また、大正2年、京王電気軌道の開通により、上高井戸駅(現:芦花公園駅)、松沢

駅(現:八幡山駅)が開業したことや戦後の経済発展とともに都市化の波が急激に押し寄せ、上高井戸は農村から住宅地へと姿を変えてきました。

さらに、甲州街道や環状八号線の幹線道路沿いは、火災の延焼遮断帯の役割の一端を担うために、ビル等が建ち並び、まちの様子が大きく変化してきました。しかし、幹線道路や駅周辺の商業地の後背地は、清閑な住宅街とともに、公園など文化的な施設も点在しています。また、大規模な杉林は見られなくなりましたが、農地や遺跡も残っており、区内でも比較的多い地域となっています。

歴史や文化をテーマに、上高井戸界わいを訪れてみてはいかがでしょうか。

参考文献: 杉並区史探訪 森 泰樹 著 昭和49年発行
すぎ百科展 杉並区立郷土博物館 平成5年発行



現在の芦花公園駅

上高井戸の農地

杉並区 都市整備部 都市計画課 鉄道立体担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111(内線)3504 Fax 03-5307-0689